

美濃焼について知って食べよう！

給食の食器は「土岐市産」って知ってますか？

美濃焼の産地、東濃地方は日本最大の陶磁器生産拠点ということをご存知ですか？
中でも土岐市は陶磁器生産日本一の町で、全国シェアの50%以上とされています。
そんな土岐市だからこそ、子どもたちにも陶磁器の食器で食べてもらいたいと思います。
ただ、陶磁器を大量に洗浄したり、配送車で運ばれてしまっただけでは、たくさん割れることは避けられません。そこで、土岐市は、給食の食器用として「高強度磁器」を開発しました。この食器は、アルミナというファインセラミックスの材料を調合し、一般磁器の3倍以上の耐久性が実現されたそうです。

しかし、全く割れない訳ではありません。逆に割れるから食器だからこそ、物を大切に扱う力を子どもたちには身に付けてもらいたいと考えます。そして、割れた食器はリサイクルとしても利用されています。土岐市の子どもたちには、物を大切にできる子、食べることを楽しんで大切にできる子に育てて欲しいと願っています。



小中学校で使用している高強度磁器



幼稚園で使用している高強度磁器

卒業記念品 ～美濃焼茶碗～

土岐市では、中学3年生に卒業記念品として「美濃焼のご飯茶碗」が贈呈されます。

今年度は、樹釜の「清流」（右）、藤田陶器の「稜花 ごはん茶碗 白百合」（真ん中）、鈴木陶苑の「塗分十草茶碗」（左）の3作品から、生徒は自分で好きなものを選んでいきます。

茶碗は使ってみて感じる良さがあると思います。割れることを心配するのではなく、ぜひ使って実感してもらいたいと思います。

料理は見た目、視覚情報が83%と言われています。ぜひ、美濃焼で美味しい食事を味わってもらいたいです。



令和6年度中学卒業記念品